

武蔵野

Musashino
Through
Photographers' Eyes,
and the Photography of
Mukai Junkichi
再考

写真家たちの
武蔵野と
向井潤吉の
写真

2026
5/2(土) — 7/26(日)

会場：世田谷美術館2階展示室

開館時間：10時～18時(入場は17時30分まで)

休館日：毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、5月4日(月・祝)、7月20日(月・祝)は開館、5月7日(木)、7月21日(火)は休館

観覧料：一般220(180)円、大高生170(130)円、65歳以上/中学生/障害者110(90)円

* ()内は20名以上の団体料金。* 小・中・高・大学生の障害者、および障害者の方の介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。* 高校生・大学生・専門学校生、65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方は、証明書をご提示ください。

* 世田谷区内在住・在校の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。

* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

世田谷美術館

〒157-0075

東京都世田谷区砧公園1-2

SETAGAYA ART MUSEUM

TEL: 03-3415-6011(本線)
<https://www.setagayartmuseum.or.jp/>

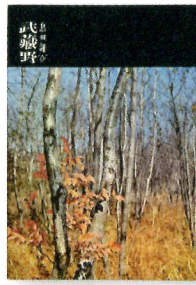


武蔵野

Musashino
Through
Photographers' Eyes,
and the Photography of
Mukai Junkichi

再考

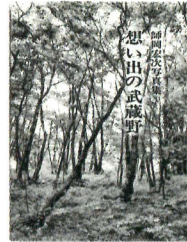
写真家たちの
武蔵野と
向井潤吉の
写真



上|島田謙介「武蔵野」(1956年、暮しの手帖社)
左|島田謙介《雪の雑木林D》[世田谷区粕谷町
蘆花恒春園] 1955-56年



師岡宏次《大泉付近の35年間・昭和15年》1940年



師岡宏次「想い出の武蔵野」
(1976年、講談社)



上|田沼武能『武蔵野』(1974年、
朝日新聞社)
左|田沼武能《雑木林の落葉掃き》
[狹山市堀兼] 2013年1月

本展では、武蔵野をモチーフとしたこれらの写真を通してそこに込められた作者の思い、そして近現代における「武蔵野」の意味を今一度再考いたします。向井の写真に関しては、写真家・金村修(Shin)の眼で選ばれたネガフィルムをあらたにプリントし、金村修による現代の武蔵野もあわせてご紹介いたします。

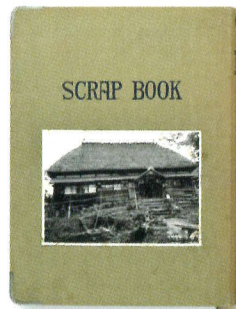
「武蔵野」をテーマとした写真集を発表しました。飽くことなく民家のある風景を描き続けた向井潤吉(1901-1996)は、誰に見せることもなく、98冊にも及ぶ民家の写真のアルバムとそのネガ・ファイルを40冊近く作成していました。

武蔵野の範囲は諸説ありますが、荒川と多摩川と入間川に囲まれた大地部分を指します。のどかな自然としてノスタルジックに語られがちな「武蔵野の林」は、実は「近世の作」で、「薪の材料」を確保するために江戸時代に植生されて出来上がったものであったことはあまり知られていません。島田謙介(1900-1994)・師岡宏次(1914-1991)・田沼武能(1929-2022)は、武蔵野の風景をカメラに収め、それぞれが

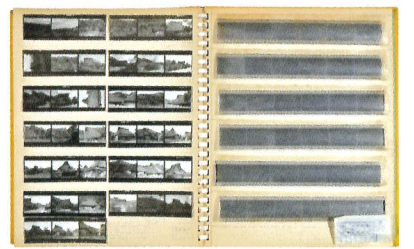
古くより「武蔵野」と呼ばれた一帯に位置する世田谷。そこにはかつて雑木林が広がり、大きな農家が点在する、のどかな風景を思い浮かべるのではないのでしょうか。私鉄の延伸により、次第に現在のように宅地化された賑わいのある町へと変貌します。



金村修《Musashino Grizzly》[杉並区阿佐ヶ谷] 2026年



向井潤吉の自作アルバム
「民家蒐集」より(表紙・見開き)



向井潤吉の自作ネガ・ファイル

表面|島田謙介《杉林》[埼玉県北足立郡新座町野火止 平林寺](部分) 1955-56年

コーナー展示 倉俣史朗の家具

同時開催企画展

田中信太郎——意味から遠く離れて
4月25日(土) - 6月28日(日)

ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙
——川田順造・小川待子コレクション
7月11日(土) - 9月6日(日)

次回收藏品展

ミュージアムコレクション II
気になる、こんどの收藏品
——作品がつれてきた物語
2026年8月8日(土) - 10月25日(日)

世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2
TEL: 03-3415-6011 (代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>



- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは、美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行きバスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台) 東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

*ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合があります。他のお客様へのご配慮をお願いします。
*展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。会期中の最新情報は、美術館ウェブサイト等でお知らせします。